

平成30年度 第2回嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会 会議録

- 1 審議会等の名称 平成30年度 第2回 嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会
- 2 開催日時 平成31年3月18日 月曜日 午後7時00分～
- 3 開催場所 嘉麻市役所 嘉穂庁舎2階 第1会議室
- 4 公開又は非公開の別 公開
- 5 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6 出席者

（1）協議会委員

会 長 木本寛昭

副会長 永富靖人

委 員 本松政一郎委員、園田 晃委員、藤井隆昭委員

平田賢一郎委員、伊東新治委員、青木康弘委員、

（欠席）野上真吾委員、松岡広樹委員、高松美紀委員、福永貴義委員、

（2）行政機関

学校教育課長 柴田きよみ、 学校教育課参事 大森雅明

学校教育課長補佐 北富真治、 学校教育課指導係長 宮脇教子

学校教育課指導係 青野秀明

- 7 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8 議題及び協議の内容

【議題】

<協議題>

- （1）地域の人材や学生ボランティア等を活用した教育課程外の学力向上事業の実施

①土曜未来塾

②学校外補習学習事業

- （2）児童生徒の基礎的な学力の定着を図る家庭学習の充実

- （3）学力向上推進員による小・中学校への指導・支援体制の強化

<説明>平成31年度学力向上推進事業の取組について

- （4）その他

【協議の内容】

(1) 地域の人材や学生ボランティア等を活用した教育課程外の学力向上事業の実施

①土曜未来塾

本年度の土曜未来塾の実施状況について説明し協議した。

(主な説明内容)

- 本年度の土曜未来塾の参加者は195名、3年間の推移で増加傾向。
- アンケートで勉強が分かるようになったと答えている児童生徒の割合が高い。
- 子どもの伸びに対する保護者からの感謝の言葉が多く寄せられている。
- 大学生を中心とするサポーター自身の成長にも寄与している。

(主な協議)

- 土曜未来塾は、非常にありがたい。学力も数値として上がって底上げになっていると思う。保護者としては今後も行っていただけるとありがたい。(委員)
- 勉強面白いなとか、未来塾に入って楽しくなったとか、勉強のきっかけになれば非常にありがたい。今後ともよろしく願いたい。(委員)
- 人数が増え、会場の広さが狭くなる心配があるのではないか。(委員)
→今後、人数の増加状況で会場変更をしなければならないことも想定される(事務局)
- 嬉しい悲鳴と言うか、結果が出ているということ。月曜日のスタート時に宿題を忘れる心配をしなくていい。家庭学習の定着もできる。(委員)

②学校外補習学習事業

学校外補習学習事業の実施状況及び次年度の計画について説明し協議した。

(主な説明内容)

- 長期休業中や放課後に地域人材や大学生を活用した補充学習を行っている。
- 同様の事業を学校独自で行っているケースもある。

(主な協議)

- 学校関係者評価委員会で話を聞くと、確かに学習の習慣化が出来ている。子どもたちの存在を認めてあげる。褒められる環境があって、頑張ったね、よく出来たねという言葉かけがモチベーションを上げていると感じた。(委員)
- この事業は良いと思っている。2学期をスムーズに迎えられることは、子どもにとって大きなストレスが無い状態で2学期を頑張れる雰囲気を作り出せて非常に良かった。たくさんの学生に小学生の時の勉強や中学生になったの勉強を聞くことでキャリア形成出来るという側面もあることが非常に良かった。(委員)
- 土曜未来塾の学生とも連絡を取っていただき、毎週1回ぐらい放課後に学習できるようにできればと思う。(委員)
→今後も継続して相互の事業に関わり、きっちり指導できる学生の確保に努めていきたい。(事務局)

(2) 児童生徒の基礎的な学力の定着を図る家庭学習の充実

家庭学習について教育アクションプランに示す目標値を説明し、本年度の結果を説明し協議した。

(主な説明内容)

○児童生徒の平日の学習時間、週末の学習時間の達成度について。

○家庭学習の個別化の推進について。

(主な協議)

○家庭学習の時間を達成出来たのと学力向上が比例していないところが若干ある。

家庭学習の習慣化は大事だが、何をやるかが大事だと思う。(委員)

→家庭学習等の仕組みは、学習の個別化の推進として教員研修を重ねている。

今後も継続して学習の個別化を推進していきたい。(事務局)

○学習をより定着させるためには、教えた事を出来るだけ早く繰り返し訓練するというのが非常に大事。個性化・個別化を図るようにしている。習慣化は、出来るだけ同じ時間同じ場所でやるように指導している。(委員)

○おすすめの問題集があれば教えてほしい。子どもたちに勧めることが出来る。(委員)

○自学を形だけで進めると、作品作りのように綺麗にノートにまとめるが、内容は一切分かってないことがある。自学も工夫がいる。(委員)

○土曜未来塾のアンケートで、家で勉強する時間が増えた小学生が21%、中学生で20.6%いた。未来塾での分かる楽しさが家庭学習に結び付いている。まず分かる事を増やしていくことが家庭学習に結び付くと考えている。(事務局)

○やっぱり楽しくなることが一番大事。出来たっていうことの積み重ね。(委員)

○その先生を好き、その先生の授業が好きというのが大切。それで教科が好きになったということがある。今後も授業のあり方を考えていく。(委員)

(3) 学力向上推進員による小・中学校への指導・支援体制の強化

学力向上推進員による学校への指導助言及び若年教員への指導について説明し協議した。

(主な説明内容)

○学校への訪問回数や若年教員の指導回数について。

○市教育センター主催の講師研修会について。

○若年教員の指導の充実について。

(主な協議)

○福岡県の教員の数は、正規の数が少ない。今後大量退職されることを見越して採用している時になっていると聞いた。(委員)

→嘉麻市の場合は少人数指導で30人以下学級をしている。県費では配置されない先生を市費で雇っているので講師の雇用も他市に比べて多い。(事務局)

○他の市町村では担任を講師の先生にお願いする状況が非常に多いと聞く。嘉麻市ではどういった状況か。(委員)

→担任をしてほしいという話をしてるのは事実。特に小学校の教員は50歳以上が半分。今後若い先生を講師と同じように伸ばしていく必要がある。もう一つ、制度として再任用というのがある。その働き方の一つとして、週3日で働くとなると担任しないので、担任の数が減っているのが実際。(事務局)

○PTAの立場からすれば、先生の負担を減らして、担任になりたいという先生を増やしたいという想いがある。遠慮なく言っていただきたい。(委員)

→担任をする意欲を持った若い教員を育てていきたい。(事務局)

<説明>

平成31年度学力向上推進事業の取組について事務局より説明を行った。

(4) その他

筑豊教育事務所教育指導室主任指導主事である青木委員から、全国学力学習状況調査や福岡県立高校入試の改革について情報提供があった。また、嘉麻市の学力向上方策について助言を受けた。

9 配付資料

(1) レジューメ

(2) 資料 平成30年度 第2回嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会資料

(3) 別紙 平成30年度「嘉麻市土曜未来塾」実施状況